

かがやきクラブ鶴見 創立60周年記念誌



鶴見区老人クラブ連合会

60周年を迎えて

鶴見区老人クラブ連合会 会長 日向 邦夫



会員の皆さまと多くの方々のご協力、ご支援をいただき、鶴見区老人クラブ連合会創立60周年を迎えることができ誠にありがとうございます。

心より厚く御礼申し上げます。

鶴見区老連は、令和5年度事業の展開にあたり会員はもとより、地域全体の高齢者を視野に入れた活動を計画しています。実施については関係機関や、各団体等と連携し、令和4年度に増した地域のまちづくりを始め、健康づくり・仲間づくり・支え合い・助け合い・社会奉仕などの活動を進めてまいります。

再度の新型コロナウイルス感染拡大により計画した各事業が中止や延期にならないことを願って進めません。

重点的に進めたい活動は次の通りですので会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

- ・地区老連および単位クラブの活性化と組織の強化
- ・会員増強と人材育成(特に若手会員の加入促進と役職者の担い手不足の解消)

- ・健康づくりと介護予防事業の推進(認知症サポーター養成講座)
- ・高齢者の居場所・たまり場づくり(地域での支え合い・助け合い)
- ・サークル活動の多様化(ニュースポーツの活用)
- ・女性リーダーの育成・生涯学習の推進

なお、令和4年度は横浜市老人クラブ連合会が策定した「市老連活性化プロジェクト」(会員加入促進・会員減少防止に向けた取り組み)を設置して体制の強化を図ります。鶴見区老連としての対応は「魅力ある活動の紹介」といたしました。

鶴見区老人クラブ連合会創立60周年を迎え、次に向けた新たな出発をすることになります。

古事に曰く、「勇往邁進」(恐れることなく、目的・目標に向かってひたすら前向きで、前進あるのみです)会員の皆さん、大いなる前進と、さらなる発展を目指して、鶴見区老連はもとより、地区老連や単位クラブの活動に励みましょう。

目次

創立60周年記念誌

02	あいさつ・祝辞	10	活動アルバム
05	60年のあゆみ	12	委員会紹介(10委員会)
08	鶴見区老人クラブ連合会組織図	15	地区老連紹介(17地区)
09	令和4年度役員/平成25年度～令和3年度の役員		

鶴見区老人クラブ連合会 「かがやきクラブ鶴見」創立60周年の祝辞



鶴見区長 渋谷 治雄

このたび、鶴見区老人クラブ連合会が令和5年春に創立60周年を迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。

貴連合会の長きにわたる生きがいつくりや健康づくりなど、自身の生活を豊かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動は、鶴見区の高齢者施策や地域活性化に多大な貢献をもたらしてくださりました。心から感謝と敬意を表します。

さて、鶴見区の人口は現在、約29万6千人ですが、このうち65歳以上の方は約6万1千人と2割を超え、平

均寿命は男女とも80歳を超えています。

生涯にわたり健康で元気に過ごしていくため、老人クラブの活動を通して、仲間づくりや生きがいつくりをしていただくことは、大変重要なことと考えています。鶴見区としても、皆様が住み慣れた地域で、自分らしく、健康で、生き生きと生活できる“いつまでも住み続けたいまち”を、皆様とともに目指していきたいと思っております。

私も「鶴見シルバーフェスタ」に参加させていただきましたが、個々の作品や活動の成果の見事さに感動しました。また、明るく楽しそうな

お顔を拝見し、仲間で集うことの大切さや、皆様方が長年培ってこられた豊富な知識と経験、技術を様々な活動を通じて発揮するすばらしさを改めて感じました。

これからも引き続き、活発な活動を通して得られる経験や充実感を、区民の皆様に向けて発信していただき、生きがいつくりや健康づくりの輪を広げていただくことを期待しています。

結びに、鶴見区老人クラブ連合会のますますの御発展と皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

発刊を祝して



鶴見区自治連合会 会長 石川 建治

鶴見区老人クラブ連合会の会員の皆様、結成60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

これまでの活動を支えてこられた多くの皆様方のご苦勞とご尽力に心から感謝申し上げます。

老人クラブの会員の皆様は、健康づくり事業や教養・文化事業、友愛活動事業など様々な活動をされており、高齢者の健康づくりや仲間づくりなど明るく健やかで心豊かな地域社会づくりに多大な貢献をされていることは大変喜ばしいことでもあります。近年では孤独死なども社会的な問

題として取り上げられるようになりましたが、そのような地域の現状がある中、皆様のような活動は非常に有意義であり、地域の結びつきに非常によい効果をもたらすものと感じています。地域の方々同士での仲間づくりが活性化されると、生きがいをもった高齢者は増え、地域の活性化につながります。

令和2年に入ってからには新型コロナウイルス感染症が拡大し、思うように活動できない状況となりました。その中でも老人クラブの皆様は工夫をして活動されており、地域のつながりを絶やさないという皆様方の姿勢を非常に心強く感じております。

鶴見区自治連合会としても、地域のつながりは最重要であると考えております。そして、元気な高齢者は地域活性化における重要な財産です。これからも老人クラブ連合会の活動を誇りに思い、鶴見区自治連合会も明るく健康で活気あふれる地域づくりをご支援させていただきたいと思っております。

最後になりますが、鶴見区老人クラブ連合会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。簡単ではございますがお祝いのごあいさつとさせていただきます。

鶴見区老人クラブ連合会60周年に寄せて

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
会長 渡辺 武



鶴見区老人
クラブ連合会設
立60周年、誠に

おめでとうございます。長年にわたる老人クラブの活動は、地域の高齢者福祉に多大な貢献をされているだけでなく、地域共生社会の構築にも大きく貢献されています。

近年、地域住民同士の関係性の希薄化は、重要な地域課題となっています。また、既に3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで慣れ親しんできた生活様式の変更を余儀なくされ、人

と人との交流もままならず、地域の中で孤立しやすい状況となっています。

老人クラブ連合会が進めてこられた「健康・友愛・奉仕」の活動は、会員のための取り組みに止まらず、様々な地域活動の促進にもつながっています。

コロナ禍の下においても、歩みを止めることなく着実に取り組みを進められており、孤立させない地域づくりの観点からも大きな役割を果たしています。

私ども鶴見区社会福祉協議会で

は、誰もが安心して自分らしく暮らせる福祉のまちづくりを目指して、地域福祉活動の推進を図っております。これからも老人クラブ会員の皆様をはじめ、地域で活動する様々な方々と協働して、地域福祉活動を推進していきたいと考えております。引き続き、ご支援を頂きますようお願いいたします。

最後に、鶴見区老人クラブ連合会の皆様の益々のご健勝と、会の更なるご発展ご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

鶴見区老人クラブ連合会

創立60周年を祝して

かがやきクラブ横浜(公益財団法人横浜市老人クラブ連合会)
理事長 奥田 能史



鶴見区老人
クラブ連合会結
成60周年、誠に

おめでとうございます。

「市老連のあゆみ 老人クラブの歴史(昭和52年発行)」によりますと、昭和31年9月に横浜市第1号の老人クラブである「生麦第二地区としよりクラブ」が発足し、65年以上の月日が経ちました。その歴史の重みを感じることもさることながら、その間を顧みますと、社会環境や家族観など、時代の変化の大きさに改めて驚かされます。

近年においては、コロナ禍の中、

単位クラブの活動が一部停滞し、解散クラブ等が増えている状況を踏まえ、会員数の減少に歯止めがかけられるよう対策等を講じていくことが、急務な状況です。横浜市老連始まって以来の危機的な状況を受け止め、問題点や課題を探り、そのことを踏まえた対応策を講じていくための検討組織として2部会を含む「市老連活性化プロジェクト」を設けました。昨年度は、集中的に検討を重ね、3月には中間とりまとめとして集約しました。今年度は、取組の具体化や実施を目指してまいります。

老人クラブの先駆者的役割を担ってきた鶴見区老人クラブ連合会が、各クラブを牽引しながら、進めていただくことに大きな期待をするとともに、各区老(シ)連が一体となって取組を進めて行ってほしいと考えています。

結びとなりますが、鶴見区老人クラブ連合会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げまして、創立60周年へのお祝いの言葉とさせていただきます。

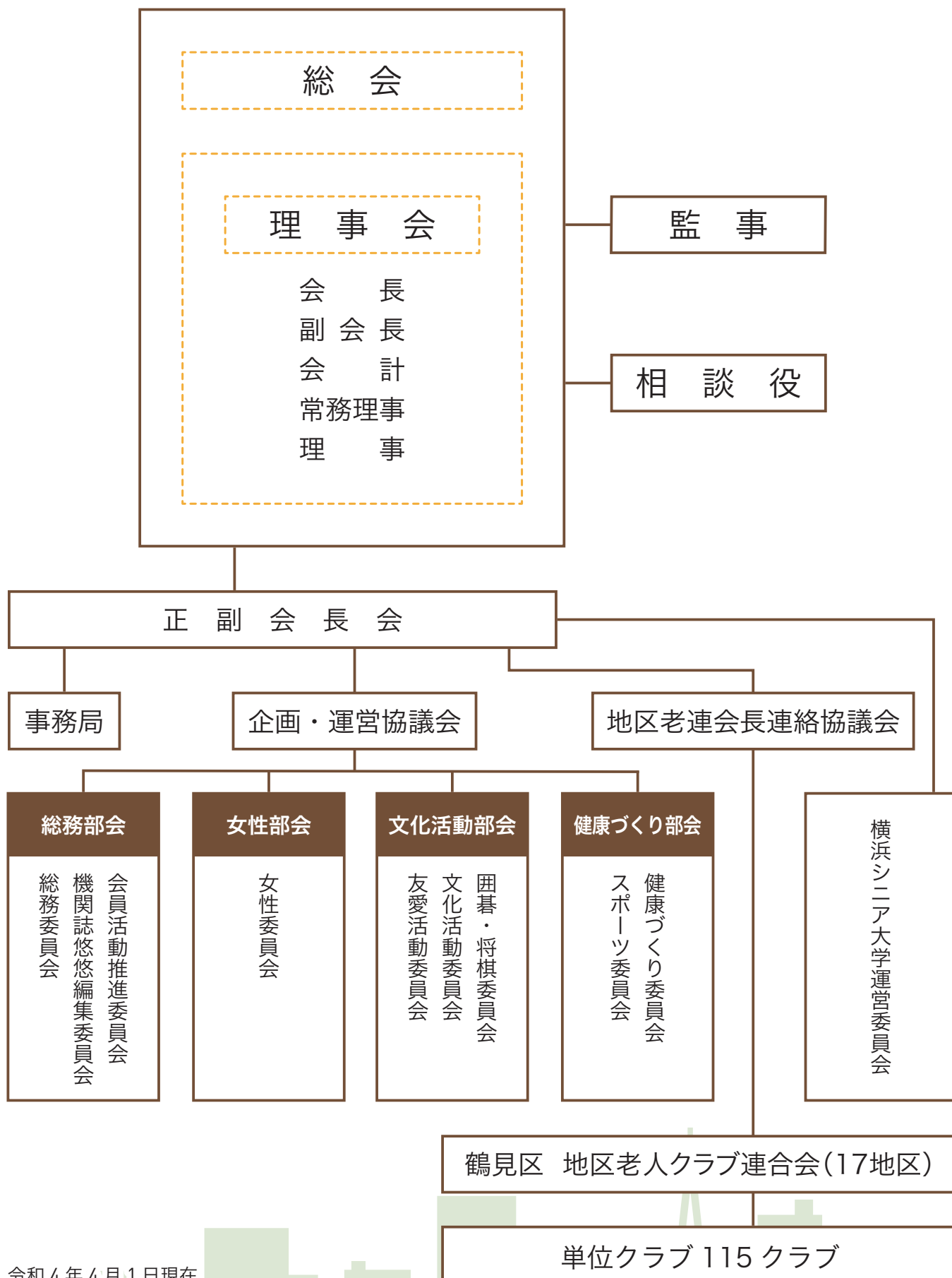
60年のあゆみ

鶴見区老人クラブ関連のあゆみ	西暦	元号	社会の動き
生麦第二地区としよりクラブの名称で、市内最初の老人クラブ発足	1956	S31	
	1961	36	高度経済成長で余暇時間が増える
	1962	37	キューバ危機／東京都1000万都市(世界初)
鶴見区老人クラブ連合会発足	1963	38	東海道線鶴見事故
市老連第1回横浜老人福祉大会開催	1964	39	老人健康診査実施／東海道新幹線開通／東京オリンピック開催
	1965	40	マイカーブーム／公害問題深刻化
	1966	41	三種の神器3C／全日空羽田沖墜落事故／「敬老の日」国民の祝日となる
	1967	42	日本人口1億人突破／日本GNP世界第3位
	1968	43	高齢者就労実態調査／3億円事件／マンションブーム
	1969	44	アポロ11号月面着陸／日本GNP世界第2位／いざなぎ景気
市老連が財団法人になる	1970	45	大阪で「日本万国博覧会」／ウーマンリブ運動
老人スポーツ大会実施	1971	46	一人暮らし老人にインターホン貸与
	1972	47	日本列島改造論／日中国交回復パンダ人気／冬季オリンピック札幌／ミュンヘンオリンピック／沖縄、日本へ返還／あさま山荘事件
	1973	48	老人医療費無料化／一人暮らし老人の医療費無料化／第一次オイルショック、買いだめ騒動
	1974	49	交通ストライキ拡大／高校進学率90%超える
	1975	50	ねたきり老人訪問介護活動事業／ベトナム戦争終結／ステレオの普及率50％／沖縄海洋博覧会
市老連が横浜市老人福祉大学を発足	1976	51	ロッキード事件／家庭用VTR普及
区制50周年記念行事	1977	52	カラオケとテレビゲーム流行／ダッカ日航機ハイジャック事件
区老連第1回ゲートボール大会	1978	53	成田空港開港／日中平和友好条約／サラ金地獄問題化
	1979	54	共通第1次学力試験／健康スポーツブーム
市老連第1回ゲートボール大会開催／末吉地区センター開設／横浜市シルバー人材センター開設	1980	55	イラン・イラク戦争／モスクワオリンピック
第1回鶴見区民文化祭	1981	56	中国残留孤児初来日／神戸ポートアイランド博覧会
区老連創設20周年記念式典	1982	57	日航機羽田沖墜落事故／東北・上越新幹線開通

鶴見区老人クラブ関連のあゆみ	西暦	元号	社会の動き
特別養護老人ホーム「やまゆりホーム」開設	1983	58	三宅島大噴火／大韓航空機撃墜事件
鶴見公会堂開設／横浜市人口300万人突破	1985	60	つくば科学万博博覧会／日航ジャンボ機墜落事故
高齢者いきいきスポーツ推進事業／健康・友愛・奉仕の三大活動開始	1986	61	チェルノブイリ原発事故／バブル景気／新年金法スタート
区制60周年／区老連創設25周年記念大会	1987	62	国鉄分割民営化JRスタート／老人保健法改正
老人福祉センター「鶴寿荘」オープン	1988	63	リクルート事件／地価高騰
鶴見スポーツセンター開館／高齢者保健福祉(ゴールドプラン)策定	1989	64	平成元年／中国天安門事件／昭和天皇崩御／年金法大改正／消費税3%スタート
上寺尾コミュニティハウス開所(鶴見区第1号)／全老連提言「21世紀に向けての『新たな老人クラブづくり』」を発表	1990	H2	東西ドイツ統一／雲仙普賢岳大噴火
区老連第1回高齢者作品展開催	1991	3	湾岸戦争／地価下落
全老連「在宅福祉を支える友愛活動」	1992	4	バブル崩壊・不況深刻／きんさん・ぎんさんブーム 学校週休2日制／老人医療費の患者一部負担率の引き上げ
区老連創立30周年記念大会／全老連「女性委員会」発足	1993	5	皇太子殿下・雅子妃御成婚／円急騰
市老連女性委員会発足／区老連外国人クラブ加入／「横浜市高齢者保健福祉計画」潮田交流プラザ(地区センター)完成	1994	6	「就職氷河期」流行語大賞
地域防災拠点発足	1995	7	新在職高齢年金制度スタート／阪神・淡路大震災発生(最大震度7)／地下鉄サリン事件
区老連老人福祉推進委員から友愛活動推進委員へ制度名称変更／高齢者保養研修施設「ふれーゆ」オープン	1996	8	O-157集団食中毒／在ペルー日本大使公邸占拠事件
区制70周年／区老連3部会(総務、文厚、スポーツ)設立	1997	9	介護保険法／基礎年金番号制度スタート／消費税5%に引き上げ／山一証券破綻
高齢者いきいき活動支援事業開始／障害者地域活動センター「ふれんどー鶴見」開所	1998	10	神奈川・ゆめ国体／横浜ベイスターズ日本一
スポーツ運営委員会発足／女性委員会活動開始／区老連事務所移転(区役所→UNEXビル)／福祉保健活動拠点開所	1999	11	介護保険の要介護設定開始／教育現場で「学級崩壊」が起こる
区老連主催バス旅行開催／特別養護老人ホーム「新鶴見ホーム」開所／障がい者地域活動「幹」開所	2000	12	「介護保険法」施行／新札2000円札発行
区老連機関紙「悠悠」創刊	2001	13	アメリカ同時多発テロ事件／国内狂牛病発生／高齢者居住の安定確保に関する法律制定
福祉保健センター開館	2002	14	老人福祉法改正(9月15日を老人の日に)／サッカーW杯日韓共同開催／食品偽装表示問題
「敬老特別乗車証」有料化	2003	15	イラク戦争勃発
区老連女性委員会に地区委員を設置／第1回映画上映会開催	2004	16	自衛隊イラク派遣／新潟県中越地震(最大震度7)
区老連女性委員会バス旅行開始／鶴見区地域福祉保健計画「鶴見あいねっと」開始	2005	17	耐震偽装問題／「個人情報保護法」施行／愛・地球博(愛知万博)
「ゆうづる」鶴見市場地域ケアプラザ開設	2006	18	ライブドア事件

鶴見区老人クラブ関連のあゆみ	西暦	元号	社会の動き
居場所たまり場「いこい亭」発足(2020終了)／鶴見中央地域ケアプラザ開所／済生会横浜市東部病院開院	2007	19	団塊世代が大量退職始まる／郵政民営化
区老連第1回鶴見シルバーフェスタ開催／友愛活動推進委員会設置	2008	20	リーマン・ショック／世界的景気後退／「高齢者の医療の確保に関する法律」施行規則
	2009	21	横浜開港150周年／裁判員制度開始／新型インフルエンザ感染拡大
区老連シニアクラブ発足／鶴見中央コミュニティハウス開館	2010	22	百歳以上高齢者所在不明問題発生／要介護状態になるハイリスク高齢者を把握する事業
地区活性化事業開始・会員増強研修会開催	2011	23	東日本大震災(最大震度7)・福島第一原子力発電所事故
「サルビアホール」開館／女性委員会ウォーキング開催／「手作りリフォームショー」開催／会員増強推進委員会設置／第1回高齢者音楽会「早春コンサート」開催／地域包括ケアシステムの構築／生麦地域ケアプラザ開所／生麦事件発生から150年／区制85周年	2012	24	東京スカイツリー開業／九州北部豪雨
区老連創立50周年記念事業実施・記念誌発行／区老連「新春コンサート」開催／活性化委員会設置	2013	25	台風26号により伊豆大島で記録的大雨
新規事業「ノルディック・ウォーク」合同練習実施	2014	26	消費税8%に引き上げ／関東地方に豪雪
区老連規約改正、活性化への取り組み／女性副会長の誕生／女性部会を新設／4部会体制／友愛活動全体研修会実施／「居場所・たまり場づくり活動」推進／「災害時要援護者支援事業」市場地区からスタート	2015	27	御嶽山噴火／豪雨により広島市土砂災害発生／横浜市「健康寿命日本一」を目指し、介護予防に取り組む
単位クラブ活性化／女性活躍の拡大／会員増強活動促進／小委員会として「若手小委員会」設置／会員加入促進施策／特別委員会として「活性化実行委員会」設置／区老連事務所移転(UNEXビル→リオベルデ鶴声)	2016	28	選挙権年齢20歳から18歳に引き下げ／横浜市人口372万人となる／熊本地震(最大震度7)
区制90周年／「地域包括ケアシステム」構築／「認知症サポーター10万人計画」事業／「認知症サポーター養成講座」開催／ホームページ開設／会員募集チラシ公共施設に配架開始／文厚部会を文化活動部会に変更	2017	29	大分県中部地震(最大震度5)／全国緑化フェア開催／九州北部豪雨／北海道地方豪雨
「活性化実行委員会」解散、企画・運営協議会に引き継ぐ／「健康づくり委員会」新設／「若手委員会」設置	2018	30	熱中症による搬送過去最高／横浜市営バス開業90周年
「健康づくり・介護予防推進員」を各地区に配置／インストラクター派遣制度発足／「地区文化祭(作品展示等)」推進	2019	31	北海道胆振東部地震(最大震度7)／令和元年／消費税10%に引き上げ／横浜港開港160周年
新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言発令、諸行事の多くが中止または延期／「フレイル予防対策」推進／市老連行動計画2020～2024／総会は「書面表決」となる／女性単位クラブ会長交流会開催	2020	R2	台風15号が関東に上陸し、千葉県に甚大な被害／東京オリンピック・パラリンピック延期／新型コロナウイルスの影響により「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」発令／九州・中部地方で集中豪雨発生
大きな行事は中止または規模変更で開催、屋外スポーツは小規模実施／ふれあいスポーツ大会、1年ぶりに開催／区老連女性リーダー研修会「鶴見川について」開催／会員活動推進委員会(会員増強委員会と若手委員会を統合)設置／市老連活性化プロジェクト(会員加入促進と会員減少防止)立ち上げ／創立60周年記念誌発行(2023年3月予定)に伴い合同委員会(総務委員会と機関誌悠悠編集委員会合同)を立ち上げ	2021	3	台風19号により、関東・甲信・東北で記録的大雨／東京オリンピック・パラリンピック開催／熱海市伊豆山にて土石流災害発生／全国各地で記録的な大雨、河川氾濫・土砂崩れ多し
ねんりんピックかながわ2022開催／ゲートボール大会(上末吉)3位入賞	2022	4	ロシアのウクライナ侵攻／福島県沖地震(最大震度6強)／安倍元首相、銃撃される

鶴見区老人クラブ連合会 組織図



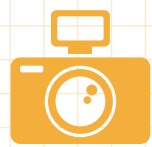
令和4年度役員

役職	氏名	担当部会 担当部会長	地区名
理事長	日向 邦夫	健康づくり部会	鶴見中央地区
理事 副会長	小室 正吾	総務部会長	会長推薦
	桑島 昭雄	文化活動部会	豊岡地区
理事 会計	海老塚光宏		会長推薦
	菅野 劭		会長推薦
常務 理事	川本 敏	女性部会 事務局長	会長推薦
	鈴木 勝夫	健康づくり部会長	会長推薦
理事	山崎 栄子	女性部会長	会長推薦
	安藤 嘉昭	文化活動部会長	会長推薦
	金子 武彦		矢向地区
	鈴木 利彦	総務部会	市場地区
	斎藤 年江	文化活動部会	市場第二地区
	瀧ノ上光政		潮田中央地区
	高橋 健次	健康づくり部会	潮田東部地区
	原口 一男		潮見橋地区

役職	氏名	担当部会 担当部会長	地区名
理事	平川 松雄	総務部会	潮田西部地区
	平林 節子		小野町地区
	高松 英郎	総務部会	生麦第一地区
	長谷川和男	総務部会	生麦第二地区
	馬場 嶽雄	文化活動部会	寺尾地区
	近嵐 清衛		寺尾第二地区
	小山 英雄	健康づくり部会	駒岡地区
	古賀 恭之		上末吉地区
監事	小幡 光男		下末吉地区
	高橋 博之		鶴見区社協 事務局長
相談役	石田 英雄	総務部会	岸谷第二親友 クラブ 会長
	烏田 次雄		前区老連会長
	田中 正昭		前区老連 副会長

平成25年度～令和3年度の役員

役職	平成25年度 (2013年)	平成26・27年度 (2014～5年)	平成28・29年度 (2016～7年)	平成30・令和元年度 (2018～9年)	令和2・3年度 (2020～1年)
会長	難波 一尚	烏田 次雄	烏田 次雄	烏田 次雄	烏田 次雄
副会長	本田 正甫	日向 邦夫	日向 邦夫	田中 正昭	田中 正昭
	田中 邦男	山部 泰久	山部 泰久	日向 邦夫	日向 邦夫
	田中 正昭	野島 忠義	野島 忠義	向井 承雄	向井 承雄 (令和2.7.12逝去)
	—	—	山崎 栄子	山崎 栄子	山崎 栄子
会計	海老塚光宏	海老塚光宏	海老塚光宏	海老塚光宏	海老塚光宏
	山浦 新市	向井 承雄	向井 承雄	菅野 劭	菅野 劭
常務理事	—	—	—	—	川本 敏 (令和3.4.1)
監事	阿部 進	阿部 進	伊藤 学	鍋木 克芳	鍋木 克芳
	伊治 哲	田代 信雄	田代 信雄	石田 英雄	石田 英雄



活動アルバム



鶴見区老人クラブ連合会総会



ゲートボール大会



横浜シニア大学受講



単位クラブ会長研修会



新任単位クラブ会長研修会



つるみ子育て・個育ちフォーラム



第14回シルバーフェスタ舞台



グラウンド・ゴルフ大会



第47回将棋大会



第14回シルバーフェスタ展示



ベタンク大会



友愛活動勉強会



第10回カラオケ大会



第20回映画上映会



第47回囲碁大会

委員会紹介（10委員会）

委員会名	男性	女性	計
総務委員会	6	0	6
機関誌悠悠編集委員会	6	3	9
会員活動推進委員会	6	2	8
女性委員会	0	21	21
友愛活動委員会	9	10	19
文化活動委員会	12	10	22
囲碁・将棋委員会	7	0	7
スポーツ委員会	21	5	26
健康づくり委員会	3	2	5
横浜シニア大学運営委員会	3	2	5
計	73	55	128

（令和4年4月1日現在）

総務委員会

委員長 小室 正吾



鶴見区老連の活動の中心である、総会で決議する規約、理事会で決裁する規程、部会長が決裁する規定等3種を総括し、相互関係の整合性を調査・検討しています。

また総会議案書の素案づくり、「事業報告」、「事業計画」、「規約改定」を担当しています。「規約」改定は「規程」、「規定」に関連があり、規約等の精通が不可欠であり、平素の勉強が欠かせません。

「創立60周年記念誌」を機関誌悠悠編集委員会と合同で編集しました。

機関誌悠悠編集委員会

委員長 田中 正昭



機関誌悠悠を編集発行している委員会です。年2回発行、現在43号発行済み、鶴見区老連の活動状況を迅速・確実に内外に伝達するため、努力しています。コロナ禍により事業の延期・中止が相次ぎ、記事の変更・差替え、新企画の設定等で、編集作業に難渋しました。委員一同知恵を絞り良い勉強になりました。総務委員会と合同で、「創立60周年記念誌」を編集しました。悠悠は1回休みますが、この休みをチャンスに変え、委員一同、より充実した悠悠にすべく、研鑽を重ねています。

会員活動推進委員会

委員長 長谷川和男



会員活動推進委員会って何??

老人クラブの会員増強と組織の活性化・基盤強化を目的として、会員増強推進委員会と若手委員会の機能を統合し令和3年4月に設置された委員会です。

会員の加入促進及び減少防止を図っていくために令和3年設置された「市老連活性化プロジェクト」の中間報告を受け、令和4年度鶴見区老連は「魅力ある活動の紹介」に取り組みます。委員会では単位クラブ及び区老連各委員会と連携・協力を進めていきます。

友愛活動委員会

委員長 馬場 嶽雄



友愛活動委員の勉強会で感じたことは、地区により温度差があるように思われます。友愛活動とは、同じ世代に生きている者同士の心と心のつながりを基本にした活動です。会員の全てが対象者であり、担い手でもあり、同じ世代の仲間として支え合う活動です。皆さまは老人会入会と同時に友愛活動のスタッフなのです。まとめ役として何名かの友愛活動員を選出して日頃の活動の訪問、見守り、居場所・たまり場づくり、外出援助・生活支援などを担うのが会員全体の楽しい奉仕活動の一環なのです。

女性委員会

委員長 高橋 豊子



女性委員会は、女性の立場からの活動の推進と組織の強化を図ることを目的として設立された委員会です。その目的を達成するための主な事業は、日帰りバス研修会、女性リーダー研修会、あれ・これショー、映画上映会等です。また市老連関連の3区(鶴見・神奈川・港北)合同のノルディック・ウォークをスポーツ委員会と共同企画運営しております。いずれの事業もコロナ禍で影響を受け、規模の縮小・延期・中止も止むなくされ、苦慮しています。一日も早いコロナの終息を祈る毎日です。

文化活動委員会

委員長 安藤 嘉昭



文化活動委員会の紹介をします。2大イベントとして、①カラオケ大会②シルバーフェスタがあります。

①各地区から、のど自慢が集まり、プロを含めた審査員により得点を競い、優勝者は市の大会に出場します。②舞台の活動披露と作品展示発表を開催します。舞台では和洋を問わず、舞踊、器楽演奏等、個人・団体で披露します。別会場では絵画・書・写真・手芸作品等が展示されます。舞台発表、展示品ともに、玄人かと思われる出来栄えに目を見張ること請け合いです。

囲碁・将棋委員会

委員長 原田 文夫



囲碁・将棋の日本伝来は奈良・平安時代頃と言われています。近年若い人達は囲碁将棋を頭脳スポーツと捉えパソコン、AIを駆使する時代になっています。

囲碁・将棋は相手が必要なのと、目新しさが無く、また趣味の多様化が競技人口を減少させています。区老連大会参加者も一時期には75名近くおりましたが令和3年度はコロナ禍のため30名までに減少しています。ねんりんピックの競技種目として挙げられているように囲碁・将棋という伝統文化を守るためにも多くの参加者を期待します。

スポーツ委員会

委員長 鈴木 勝夫



区老連の3大スポーツといえばゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフで毎年春秋に大会を開催しています。近年、ゲートボール愛好者は高齢化により激減しておりますが、ペタンクやグラウンド・ゴルフはゲームの親しみやすさから愛好者が増加しております。当委員会の目的は高齢者スポーツの普及と振興を図るとともに会員相互の心のふれあい、健康維持、仲間づくり、生きがいづくりに寄与することです。将来はニュースポーツ（ポッチャ・ふまねっと・公式ワナゲ等）を検討しています。

健康づくり委員会

委員長 小山 英雄



健康づくり委員会のメイン活動は、認知症サポーター養成講座です。少子高齢化社会を迎え、一人暮らしの人が増えており、サポーターの存在がより重要になっております。

本年度は地域密着型で区内における9ヶ所の地域ケアプラザとタイアップすることで、会員の方が全員この講座に参加してサポーターになっていただくことを目標としております。その役割である障壁のない“バリアフリー社会”を作り、生活しやすい環境をサポーターの皆さまと一緒に作っていきたいと考えております。

横浜シニア大学運営委員会

委員長 佐尾 隆昌



横浜シニア大学の歴史は古く、昭和51年に横浜市老連が「横浜老人福祉大学」として発足、高齢者の生涯教育の一環として寄与してきました。講座内容は「健康・福祉・生活・教養・社会」の分野から市老連が講座項目、内容、講師を選び18区の老人クラブが運営しています。

鶴見区老連は寺尾地区センター「鶴寿荘」で令和5年度は6・7月の9講座で開講予定です。

申し込みは4月から行われ、受講者の定員は25名となっています。

地区老連紹介（17地区）

地区名	クラブ数	男性	女性	計	地区名	クラブ数	男性	女性	計
矢向	7	145	269	414	生麦第一	10	247	433	680
市場	10	248	418	666	生麦第二	11	244	561	805
市場第二	4	119	195	314	豊岡	6	149	335	484
鶴見中央	7	95	236	331	寺尾	7	162	310	472
潮田中央	3	76	107	183	寺尾第二	8	153	268	421
潮田東部	14	295	523	818	駒岡	4	150	206	356
潮見橋	4	77	143	220	上末吉	7	143	318	461
潮田西部	5	67	136	203	下末吉	5	113	206	319
小野町	3	79	139	218	計	115	2,562	4,803	7,365

（令和4年4月1日現在）

矢向地区

地区老連会長 金子 武彦

当地区は矢向6、江ヶ崎1の合計7単位クラブで構成されています。

会長会は月1回矢向地域ケアプラザにて区老連の議事報告、各単位クラブの活動および予定を話し合っております。

新年会、総会、年1回グラウンド・ゴルフ大会を60人以上の参加者で楽しく催しています。

各単位クラブの活動は月例会、カラオケ、誕生会等を行っておりますが、コロナ禍で中止というのが現状です。

新加入者が無いので苦慮しています。粘り強く加入を勧めていきたいと思っております。



市場地区

地区老連会長 鈴木 利彦

当地区には旧東海道があり、東に川崎、西に神奈川の宿に通じる場所で、かつて暴れ川と呼ばれた鶴見川が西に流れています。交通の要所として発展した場所であり、街道沿いには熊野神社、一里塚、そして鶴見川橋（旧鶴見橋）があります。京浜急行の鶴見市場駅の南には第一京浜（国道15号線）があり、箱根駅伝の「花の2区」鶴見中継所となっています。

地区行事としては、これまで日帰りや一泊旅行、総会、忘年会、そして地区自治連合会主催の運動会、防災訓練等に積極的に参加してきました。しかし、新型コロナの影響でこの3年間は思うように行事を行えませんでした。

コロナ禍が収まった時には、かつてのように友愛・女性・スポーツ委員会を中心に笑顔あふれる活動を再開したいと願っています。



市場第二地区

地区老連会長 齋藤 年江

当地区は旧東海道が中央を通っていて、一里塚史跡があります。工場跡地は大型マンションが建ち、小学校は賑わい、マンモス校と化しています。分校が設立し、マンションの一角には地域の人達が利用する会館ができ、会議、茶会、たまり場として利用させていただいております。広場ではチビっ子であふれんばかり、元気な声が満ちています。

各单位クラブでは、スポーツ、茶話会、体操、ストレッチ、映画等、子ども達とコラボレーションとして、クリスマスツリー飾り、七夕飾り、季節の節目を感じる活動を行っています。

コロナ禍に於いては自粛を余儀なくされ、活動がままならない昨今ですが、揺るぎない規範を、「人生100年の旅」川の流れるようにあゆみの足跡を残していきたいものですね。一陽来復を願う！



鶴見中央地区

地区老連会長 日向 邦夫

当地区は国道15号線、鶴見警察署前の交差点に立つと区役所、消防署、郵便局、マンション群が建ち並んでいます。JR鶴見、京急鶴見各駅が近く交通の利便性が良い地域です。当地区は7単位クラブで構成されています。

毎月会長連絡会を開催し、区老連の報告と各单位クラブの活動について話し合っています。以前は合同で旅行、演芸鑑賞、忘年会、スポーツを実施していましたが、会員の減少と高齢化が進み、更にコロナ禍で中止する傾向となっています。

現在は定期的にグラウンド・ゴルフや、ラジオ体操を行ない、会員相互の交流や健康づくりに励んでいます。高齢化が進む中、会員の加入促進や、活動に、今後も心身ともに健康を維持し、皆が楽しめる企画を考えたいと思います。



潮田中央地区

地区老連会長 瀧ノ上光政

当地区は3単位クラブで構成されているこじんまりした連合会です。コロナ禍で諸活動が滞っているなか、令和3年4月に当地区が主催する「かがやきサロン潮田」をオープンしました。

潮田公園コミュニティハウスの協力を得て、毎月第三日曜日の午後に地区のシニアの方々を主対象とした、居場所・集いの場です。令和4年度も月々20人前後の男女が集まり、お茶、おしゃべり、パズルやゲーム、わっくん体操など楽しんでいて、時にはケアプラザの方々のお話や体操指導などもあります。

令和4年8月には「みずほ支援福祉事業」（一般の方も対象にした町内会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員他と連携した活動）に協賛した特別講座を開催しました。



潮田東部地区

地区老連会長 高橋 健次

当地区の発足は、規約の沿革から推測すると昭和50年頃と思われます。現在は14単位クラブの大世帯です。

しかし急速な高齢化が進み、更に社会環境の変化に伴い個人の考え方の多様化等があり会員数の減少が悩みの種です。

会員の健康増進と交流の場作りを目標に、平成25年よりグラウンド・ゴルフを始めました。年10回開催しています。参加者は70名前後と盛況です。ここ数年のコロナ禍の中、屋内での行事に制限があり激減しているのが現状ですが、屋外スポーツは、会員交流の場作りには最適と考え、グラウンド・ゴルフを継続しています。しかし、高齢化で参加メンバーの増加がみられません。種々工夫して、頑張っています。



潮見橋地区

地区老連会長 原口 一男

当地区は4単位クラブで構成されています。区内では、高齢者の数は上位の地区です。

加えて単身高齢者世帯も急速に増えてきたのが現状です。非会員の高齢者も増え、会員同様高齢化・単身化に関する課題を解決すべく老人会・自治会等と協力して情報共有・高齢世帯を把握し、孤立を防ぐために友愛活動の一環でもあり、定期的に訪問し、健康状態や安否確認も行っています。

健康寿命を重視し、日常生活を快適に過ごすために、積極的にスポーツに力を入れて多くの会員と非会員の高齢者に参加を勧め、グラウンド・ゴルフ、ペタンクを行っています。

大会を年末に開催し、プレー終了後に親睦会を開き、単位クラブ間の交流にも役立っています。



潮田西部地区

地区老連会長 平川 松雄

毎月の役員会(単位クラブ会長と区老連各役員)は、主に地区長連絡会議と各委員会の報告、単位クラブの話題等が中心です。

また、区老連活動への参加は、各委員を中心に対応しています。コロナ禍で中止しておりますが、年1回の有志による懇親会も行っています。

活動は、スポーツ委員主導でペタンク、グラウンド・ゴルフ、ポッチャ、友愛活動委員主導で健康麻雀を、週1~2回楽しんでいます。ペタンクは、令和4年の春季ふれあいスポーツ大会で久々の優勝と頑張りました。

この10年は2単位クラブ解散という難しいスタートでした。しかし、日頃の活動が同好会でしたので、解散した単位クラブ員も継続参加し、数年で2単位クラブとも復活できました。これからも環境は、厳しいでしょうが会員の知恵で乗り越えたいと考えています。



小野町地区

地区老連会長 平林 節子

当地区は3単位クラブの会員で構成されています。高齢化・介護施設への入居、転居で会員数の減少が目立ちます。

下町で昔ながらの住民が多く、地区全員が顔なじみです。ラジオ体操、グラウンド・ゴルフ、ペタンク等、週3回、単位クラブの垣根なく互いに交流しながら活動しています。春秋、年2回のグラウンド・ゴルフ大会も楽しみのひとつです。

ケアプラザ職員の指導による体操、鶴見警察署員の詐欺防止、薬剤師さんの薬の正しい飲み方等の研修会・講演会も開いています。囲碁・将棋・トランプ・手芸(押絵、タペストリー)・カラオケ等を楽しんでいます。例年、単位クラブで行っている日帰りバス旅行もコロナ禍が収まりましたら地区老連で行う計画をたてています。



生麦第一地区

地区老連会長 高松 英郎

当地区は10単位クラブで構成されています。

地区では定例、毎月10日前後に各単位クラブが会場を持ち回りして会長会議を開催し、地区老連会長連絡協議会の報告と、各種大会や地区合同で行う春・秋のバス旅行の開催等について協議・検討を行っています。

しかし、コロナ禍中の3年は、単位クラブに限っても、なかなか予定が立てられず、地区全体では更に開催も難しい状況でしたが、昨年の秋のバス旅行は実施でき、本年は行事再開が待たれるところです。

この状況下でも、熱心に行われているのがグラウンド・ゴルフです。「貝ノ浜緑地」を利用して練習は毎月(8月は除く)週3回開催されており、多数の会員が楽しんでいます。



生麦第二地区

地区老連会長 長谷川和男

当地区は11単位クラブで構成されています。

昭和31年に横浜市内最初の老人クラブとして「生麦第二地区としよりクラブ」が発足した歴史ある単位クラブです。また、鶴見区老連17地区で、会員数が潮田東部818人に次ぐ805人の大所帯の地区老連です。

毎月第二水曜日に、岸谷会館で例会を開催し、区老連および各単位クラブからの情報交換を行っています。毎年、新年会や納涼会による親睦会も開催しています。

今後は当地区としての年間行事等を企画していきたいと思っています。

各単位クラブでは、ラジオ体操、ノルディックウォーキング、グラウンド・ゴルフ、公園清掃等に「健康・友愛・奉仕」の三大目標を実践しています。



豊岡地区

地区老連会長 桑島 昭雄

当地区では6単位クラブ合同の定例会議を毎月開催。出席は会長・副会長・友愛・女性・スポーツの各委員、およびケアプラザ生活支援コーディネーターの24名で実施しています。

地区行事はスポーツ関係でグラウンド・ゴルフ、ノルディックウォーク体験会、ボッチャサークル。その他に地区のバス旅行、横浜の街を歩く「横浜散歩」、そして今、一番盛り上がっている地区老連主催の「豊岡文化祭」があります。この文化祭は「豊二鶴齡会」で実施していましたが、2019年地区合同事業として引継ぎ、2022年度で第9回を迎えました。

作品数は約80点で絵画・書道・編み物・リフォーム・写真等の他、毎年テーマ(2021年は十二支)を決め、6単位クラブの共同作品も好評で、見学者も約100名と毎年、楽しみな事業となっています。



寺尾地区

地区老連会長 馬場 嶽雄

当地区は、昭和40年に発足した別所に始まり、昭和54年の獅子ヶ谷まで、約14年の間に7単位クラブの老人会を立ち上げました。

昭和40年頃は戦後20年、鶴見も京浜工業地帯の中核都市として発展した時代で、商業地区も活気があり、各地区に自治会・町内会館が建設されました。公会堂や地区センターなどの公共施設も次々にできて、定年の延長が始まりましたが、各自の時間に趣味やスポーツを楽しめるようになりました。

高齢者のポジションや役割も多様化してきましたが、老人会の三大目標である「健康・友愛・奉仕」を実践していく喜びと、古きを尊び新しきを受け入れる心の広いシルバーエイジ、明るく楽しい老人会活動を目指しています。



寺尾第二地区

地区老連会長 近嵐 清衛

当地区は、鶴見区の最西端、神奈川区、港北区に隣接する丘陵地帯にある坂と階段の多い街です。急速な住宅開発により、坂に名前のないのが特徴です。

当地区は8単位クラブ、地区役員13名で構成され、円滑に運営されています。

長期継続している行事は、会員の健康保持のためのグラウンド・ゴルフ大会で年2回、20年も続いています。試合後に鶴見警察・地域ケアプラザ他から講師を招聘し、時期に合ったテーマで研修会を開催、コロナ禍においては、規模を縮小、万全の対策をし、開催しています。

仲間・地域の交流と老人クラブの三大運動である「健康・友愛・奉仕」実現のため、当地区老連は益々元気で頑張ります。



駒岡地区

地区老連会長 小山 英雄

当地区は4単位クラブで構成されています。
全国老人クラブ連合会の三大運動である「健康・友愛・奉仕」をベースに各単位クラブにおいて、積極的に活動しています。
健康活動はグラウンド・ゴルフ等のスポーツ活動の他に、新たにポッチャとふまねっとを導入しました。ふまねっとは認知症予防と脳の活性化に役割を果たします。
友愛活動はコロナの感染拡大により、友愛サロン(たまり場)は、自粛せざるを得ない状況です。
奉仕活動では、各地区での清掃活動や、社会奉仕の日のクリーンキャンペーンを通して、街の美化運動に貢献しています。



上末吉地区

地区老連会長 古賀 恭之

当地区は7単位クラブで構成されています。
ゲートボールの愛好家が多く、区老連大会では常に入賞しており全国大会(ねんりんピック)にも出場しています。2022年の全国大会では第3位に入賞しました。ゲートボール、グラウンド・ゴルフは同好会形式で非会員を含めた活動も盛んに行っています。
健康活動として、桜の名所、三ツ池公園でラジオ体操や散歩。奉仕活動の一環で、小学生のお迎えパトロールや環状二号線周辺の清掃を行っています。
上末吉地区社会福祉協議会の助成による「老人の集い」を末吉地区センターにおいて隔月開催しています。テーマは「介護関係・交通安全・防犯関係等」で参加者は毎回50名前後です。
会員の減少に歯止めがかからない傾向ですが、各自の趣味や特技を生かせる仲間作りのお手伝いができれば良いと思っています。



下末吉地区

地区老連会長 小幡 光男

当地区は5単位クラブで構成されています。鶴見川右岸の東西1キロ、南北3キロ、上台遺跡、宝泉寺横穴墓など古い歴史を伝える地区です。
地区活動としては単位クラブ3役15名で開催する月例会議では会員への情報周知を徹底しています。
グラウンド・ゴルフ同好会は毎週木曜日に開催し、前期・後期に分けて成績発表、表彰をして和やかに進めています。その他、ペタンク、ぴんぴん体操も開催しています。
室内行事は三密防止の視点から低調ですが、単位クラブでは誕生会などで「弁当の月」、「お菓子の月」等を企画しています。
体を動かす運動やゲーム等、新しい種目を取り入れて活性化促進を図っていきます。



編集後記

鶴見区老人クラブ連合会創立60周年を迎え記念誌を総務委員会・機関誌悠悠編集委員会と合同で作成するように要請があり、令和4年7月より編集に着手いたしました。

諸先輩が培ってきた鶴見区老連の伝統と組織を記録に残し、後に続く会員に伝えるため「50周年記念誌」をもとに60年のあゆみをまとめました。

記念誌の発行にあたり、ご祝辞の寄稿をいただきま

した皆さまに心より感謝申し上げますと共に鶴見区老連役員各位に執筆のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

60周年記念誌がこの先、鶴見区老人クラブ連合会の益々の発展に少しでも役立てればと祈念しております。

編集にあたり、編集委員一同全力をかたむけ努力いたしました。不備な点があるかとは思いますが、その点充分ご斟酌の上、ご一読いただければ幸いです。

鶴見区老連 創立60周年記念誌編集委員

小室 正吾	鈴木 利彦	荒井 康夫	安藤 嘉昭
平川 松雄	川本 敏	内井 寿久	流石 悦子
石田 英雄	田中 正昭	平野 宣雄	齋藤 美枝



鶴見区の花
サルビア



鶴見区の木
百日紅

発行日	令和5年3月25日
発行人	日向 邦夫
発行	鶴見区老人クラブ連合会 横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声2F 鶴見区社会福祉協議会内 TEL045-505-5581
編集協力・印刷	(株)博報社関東本社 厚木市愛甲1-8-39 TEL046-280-6001